



ふじさわ体協

発行・編集 藤沢市体育協会 〒251-0026 藤沢市鶴沼東8-2 秩父宮記念体育館内

URL <http://www.fujisawa-taikyo.org/>



「スポーツをする環境づくりを 支援する体協」

より良い健康スポーツライフを目指して

藤沢市体育協会会長 小野隆弘

第10代目の会長を仰せつかりました小野隆弘です。一つの節目の代ですが、何ができるのか誠に心もとなしく不安だらけです。藤沢市体育協会は、私ひとりでは何もできません。運営は、協会に関わってください。いる役員や市民皆さまのものです。ぜひ、多くの声をお聞かせください。

平成18年に60周年の節目を終え、間もなく70年の節目を迎えようとしています。これは、ひとえに諸先輩や関係者の皆さまのおかげだと心より感謝申し上げます。皆さまの知恵と工夫の援助、ご協力を心からお願ひいたします。今後も、加盟協会32種目団体に所属されている協会員が競技を楽しみ、健康で日々の生活を継続し、健康生活の大切さを周囲に発信していただければと考えます。藤沢市では、郷土愛あふれる藤沢づくりとして、「文化・スポーツに親しむ」を重点政策の一つに位置づけ、力を注いでいます。本協会としても、種目別アマチュアスポーツ団体

の集まりのなかで、多様化する市民のスポーツニーズを的確に捉え相互の連絡調整を図り、市民スポーツの普及推進を図り、文化・スポーツの高揚に貢献していくため、さらなる努力を重ねたいと思います。そのため内部的に、スポーツを取り巻く多方面における現在の環境について考えることが、今ではないでしょうか。従ってこの事を、本協会全体を貫く統一的な視点、考え方にしたいと思えます。やがて、そのことがスポーツライフを楽しむ多くの方々の生涯スポーツ推進の一助になればと考えます。以上のことを踏まえ

「スポーツをする環境づくりを 支援する体協」

より良い健康スポーツライフを
目指して

をコンセプトに掲げます。

そのための活動のポイントは

- ① 健康経営を心がけ、笑顔で楽しく行動する。
- ② 活動の可視化を心がける。
- ③ 人材の育成を心がける。

にしたいと思えます。次代の担い手である子どもたちの育成・支援、指導者の資質向上、地域との絆、情報の収集・共有・発信、他スポーツ機関等との連携・協力、事業活動場所の確保などについて4部会（総務部、財務部、事業部、広報部）の活動内容に取り入れ、積極的に充実・発展させてまいりたいと考えます。

また、スポーツ団体活動の窓口としての機能やさまざまな相談に対応できる体制の確立、スポーツ愛好家のすそ野を広げられるような体制づくりにも対応していかねければなりません。副会長、理事長、副理事長、常任理事、理事、評議員、事務局員及び関係各位のお力を頂きながら、加盟種目団体は元より市民が元気になるよう事業展開を進めてまいりますので、一層のご理解、ご協力をお願いいたします。



平成25・26年度藤沢市体育協会役員名簿

副会長	林 小野 隆弘	副会長兼理事長	井 田 章勝	副理事長	中 溝 子章	副理事長	滝 内 洋宏	常任理事	大 縫 光雄	常任理事	林 幹 雄	常任理事	波 多 和敬	常任理事	荒 井 勝男	八 幡 男	鈴 木 正夫	三 角 恵美子	井 上 仁一	今 村 もえこ	高 科 建治	成 村 三男	木 村 克三	木 下 一介	大 塚 元一	野 口 健一	小 池 元一	武 井 健一	佐 藤 和義	新 藤 幸裕	加 藤 新三	三 藤 秀三	伊 藤 秀三	坂 井 喜三	高 塚 喜三	平 塚 喜三	首 藤 喜三	大 川 喜三	有 川 喜三
-----	---------	---------	--------	------	--------	------	--------	------	--------	------	-------	------	--------	------	--------	-------	--------	---------	--------	---------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

評議員	青 山 雅紀	中 里 弘敏	西 山 悦明	宮 澤 孝夫	佐 々 木 文一	白 井 善真	熱 田 健一	黒 木 博美	渡 辺 武美	杉 沢 尚敬	芹 川 尚敬	桜 井 亮忍	小 川 英雄	宮 脇 一雄	川 副 尚	高 木 幸郎	杉 木 照美	広 瀬 泰稔	永 瀬 儀清	野 口 徳司	林 重徳	熊 谷 和儀	柳 原 秀久	山 田 武久	柏 木 昭夫	飯 高 忠昭	香 取 明夫	武 井 英毅	南 井 隆之	田 村 真子	柴 本 桂嗣	山 本 桂嗣
-----	--------	--------	--------	--------	----------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	-------	--------	--------	--------	--------	--------	------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

(監事)



山 柴 田 南 武 香 飯 柏 山 柳 熊 林 野 永 広 杉 高 川 宮 小 桜 芹 杉 渡 黒 熱 白 佐 宮 西 中 青
 本 村 井 取 高 木 田 原 谷 口 瀨 瀬 木 副 脇 川 井 沢 瀨 辺 木 田 井 々 木 澤 山 里 木
 桂 真 隆 英 明 忠 武 秀 和 重 修 徳 泰 照 美 一 英 尚 博 善 眞 文 孝 光 勝 雅
 嗣 子 之 毅 創 夫 昭 久 幸 久 光 司 儀 清 稔 美 幸 郎 雄 亮 忍 敬 武 美 健 一 夫 悦 明 弘 敏 紀

**種目協会
アラカルト**
～シリーズ48～

沢市野球フェスティバル」や昨年藤沢で開催された「第57回湘南八都市対抗軟式野球大会」は、近隣の11市町村と野球を通じて親睦を深めるなど藤沢の球界のリーダーとして、ボランティア活動を続けています。

現在、少年・社会人軟式野球の約180チーム(約3,000人)が当協会に登録加盟し、毎年3月から11月まで9カ月間に亘り、各大会に熱戦を繰り広げ、楽しい野球を満喫しています。また、

携わる者としては、当時を知る関係者も少ないため先輩達や協会関係者の活躍状況が視えないうのが悔やまれます。

昭和61年にスタートした、小・中・高校・社会人を一堂に会して試合を行うユニークな「藤

今年で77年目を迎えた「藤沢市野球協会」。この間には様々なエピソードがあったと想像するも協会発足(昭和11年)から35年間(昭和45年)までの写真や資料が乏しく、協会に



● 第53回国国民体育大会 かながわ・ゆめ国体 1998.10

大会関係者一堂に(於：八部球場)

中学の軟式及び高校の軟式・硬式、藤沢市民総体、社会人の県大会などの試合も担い、年間試合数約1,000にも及びます。

この中で、小学生を対象に地域密着した「少年野球チーム」の存在は、神奈川県内でも高い評価と実績を得ており、2011年には、プロ野球チームに選手を輩出しています。更に、藤沢出身の審判員がプロ野球界で現役として活躍していることは嬉しい限りです。

しかし、少子化及びサッカーの躍進などから「野球」に携わる人がめっきり少なくなり、平成10年(1998年)に藤沢で開催された「第53回国国民体育大会 かながわ・ゆめ国体」の軟式野球大会をピークにチーム数や選手数など減少傾向が目立つとともに、野球には絶対的な役割である「審判員」も要員不足と高齢化が際立ち、藤沢に限らず全国的な問題となっているのが現実であり、若手審判員の投入と育成が急務となっています。

審判員募集中!! (中溝)

77年目を迎えた野球協会

藤沢市野球協会



平成25年度 藤沢市体育協会事業計画

《種目別新会長紹介》

【陸上競技協会】
青木 雅紀
【野球協会】
国松 誠
【バレーボール協会】
川路 久男
【バスケットボール協会】
佐々木 孝悦
【水泳協会】
近藤 英博
【ソフトボール協会】
加藤 一
【テニス協会】
広瀬 稔
【ラグビーフットボール協会】
永淵 泰清
【体操協会】
小林 邦芳

- 1 評議員会、理事会、常任理事会、専門部会の開催
- 2 藤沢市体育協会の組織運営に関する研究
- 3 藤沢市委託事業の実施
- (1) 第68回藤沢市民総合体育大会開催事業
- (2) スポーツ人の集い表彰式典および講演会
- 4 種目協会会長会の開催
- 5 第29回「スポーツ人の集い」開催
- 6 藤沢スポーツ賞（功労者、優秀選手、敢闘選手）の表彰及び各種表彰に関する事業
- 7 県外スポーツ交流推進の助成事業
- 8 賛助会員の拡充
- 9 加盟種目協会への補助金交付
- 10 広報紙の編集、発行に関する事業
- 11 スポーツ関係団体との連携充実
- (1) 藤沢市スポーツ振興基本計画「ふじさわスポーツ元気プラン2020」に基づくスポーツ推進
- (2) 体育協会とスポーツ推進課、(公財)藤沢市みらい創造財団、藤沢市医師会との連携
- 12 IT化推進
- 13 指導者派遣事業の拡充
- 14 AED救急法講習会の開催

平成24年度収支決算

1. 収入の部

(単位 円)

項目	収入済額
体協費	9,088,754
補助金及び交付金	3,470,000
委託料	3,132,000
賛助会費	1,523,000
分担金	561,000
繰越金	302,557
雑収入	100,197

収入済額
支出済額
差引額

2. 支出の部

(単位 円)

項目	支出済額
運営費	8,664,977
事務局費	1,763,197
事業費	6,801,780
積立金	100,000
予備費	0

9,088,754 円
8,664,977 円
423,777 円

平成25年度収支予算

1. 収入の部

(単位 円)

項目	予算額
体協費	9,090,000
補助金及び交付金	3,470,000
委託料	3,132,000
賛助会費	1,500,000
分担金	561,000
繰越金	423,777
雑収入	3,223

2. 支出の部

(単位 円)

項目	予算額
運営費	9,090,000
事務局費	1,965,000
事業費	6,967,000
積立金	100,000
予備費	58,000

藤沢市バウンドテニス協会 創立20周年記念式典

藤沢市バウンドテニス協会は、お陰様で協会創立20周年を迎える事が出来ました。これまでご支援いただきました多くの方々に心より感謝申し上げます。

20周年を記念し、6月30日(日)に藤沢市民会館第1展示集会ホールにおいて、藤沢市長をはじめ体育協会、レクリエーション協会、県バウンドテニス協会、及び関係者の大勢のご来賓と種目協会の代表者にご出席いただき大変華やかな記念式典並びに祝賀会を開催する事が出来ました。本当にありがとうございます。



式典では、南会長より、「よちよち歩きのクラブが二十歳を迎える事が出来ました」と、こころまで成長を見守って頂いた関係各位への感謝とお礼を申し上げます。

理事長から協会の歩み、続いて、感謝状の授与式では、協会創立に貢献された当時スポーツ課の熊谷正明氏と田中和子当協会名誉会長と、協会創立前から現在まで長年にわたりバウンドテニスの普及活動を推進してきた加藤佳子副会長、井田正子理事に感謝状を贈らせて頂きました。また、創立20周年を記念して、平成24年度全国大会において優勝された、広瀬隆選手、谷村浩貴選手に表彰状をお贈りいたしました。

ご来賓の皆様からは、鈴木恒夫市長、小野隆弘体育協会会長、小池五男神奈川県バウンドテニス協会会長より、ニュースポーツをこれまでに成長させてきた協会会員の普及活動への労いや今後への期待と励ましのご祝辞を頂きました。

祝賀会では、会場内のスクリーンにバウンドテニスの紹介とサークル紹介のビデオを放映し、ご来賓およびご出席者へバウンドテニスの素晴らしさをPRさせて頂きました。

これからも、バウンドテニス協会はバウンドテニスが市民の皆様に親しまれ市民の絆を深めるスポーツになるよう努力して参りますので、よろしくお願い申し上げます。(井田)

AED救命講習会



熱心に受講する皆さん

藤沢市体育協会では各種目協会の協会員、指導者に呼びかけ、AED(自動体外式除細動器)救命法講習会を藤沢市消防局救急救命課のご指導を受けて、6月15日、秩父宮記念体育館武道室にて開催の運びとなりました。講習会に先立ち、小野体育協会会長より挨拶と消防職員より講師の皆様への紹介、そして今回の講習会の目的などが紹介されました。

AEDは平成16年7月に救命の取扱いを示して以降、国内において急速に普及しております。(非医療従事者のAED使用は厚生労働省医政局より認定)

現在、藤沢市内では少年から高

齢者まで多くの市民が競技大会や健康管理促進等でスポーツを楽しむんでいます。スポーツの活動中に人の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがある事態が発生した場合に備え、AEDの取扱と技能の習得は大切な技法としてお勧めします。

今回の講習会では、各種目協会より60名の参加者が3時間の講習時間内で効果的な知識と技能を習得されました。また、後日受講者全員に修了証が発行されます。

藤沢市消防局救急救命課の講師の皆様、ありがとうございます。

(天川・武井)

編集後記

藤沢市体育協会所属の32種目団体は各協会の平成25年度事業計画作成に基づき、藤沢の文化と少年から高齢者までの市民スポーツ普及高揚に向けて、安全・安心を願う各事業がスタートしました。今年も藤沢市内、市外問わずスポーツで明るい話題と感動を願いたいと思います。すでに県体育協会では今年の東京国体関東ブロック神奈川県大会の準備が加速されています。国体、オリンピック、ワールドカップなど、話題が多い時期ですが、我が藤沢市体育協会も市民スポーツを盛り上げ、その中から優秀な選手、団体が出てくることを期待しています。

(天川・武井)